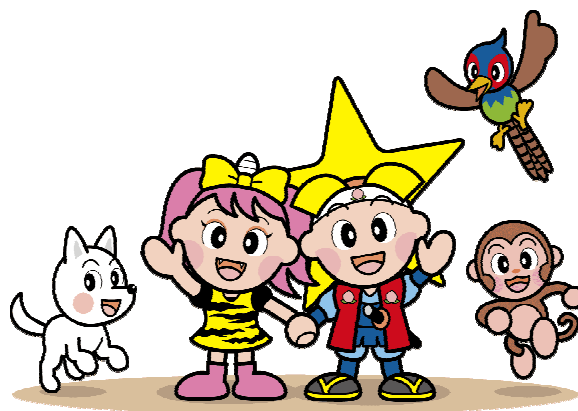


平成27年度
岡山県学力・学習状況調査

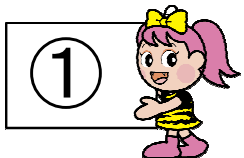
調査問題を活用した授業改善のポイント



岡山県教育庁義務教育課

国語





授業改善のポイント

目的や意図に応じ、効果的に書く力を身に付けさせる授業になっていますか？

改善のポイント

- ① 付けたい力を明確に
- ② 具体的な手立てを
- ③ 系統性を踏まえた授業づくり

問題

3

総合的な学習の時間の「リーフレット」の作成において、編集会議での話し合いの結果を受け、目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考えて書き直したり、さらに改善するための意見の提案や、条件に沿ってまとめを書いたりすることができるかどうかをみる問題。

岡山県学力・学習状況調査

中学校 第1学年

学校第1
国語
15分

実施時間：45分

「始めなさい」の指示があるまで、この問題用紙は開かず、下の調査の受け方を読んでおきなさい。

調査の受け方

調査の受け方

- [illegible]

14

岡山県教育委員会

14-00000

有松しほりの三層

要に、環境の要素を決めます。環境によって、良いものも悪いものも決まるので、一般の事を、環境の状況で決まるといふべきです。環境ができたから、環境を作り出す。これを二面性といふべきです。ヤシで割ると割れる、三ミリの針で刺さるをきく、これは環境の目印にします。そしてできた環境を更に使って、善いを使って環境を善いをします。これを二輪性といひます。輪が回ってまたまた針や糸などの道具を使って、しほりや、きり、くぐりの作業をします。環境の状況で決まるといふ環境の善い、何人もの善いに関与する。しほりが終わった方は、工場を運ばれ、それぞれの工場につけて決められます。この作業を一歩合、と言います。最後に出るべき物を取らしてから、物を運ばないために二歩合、をします。

1999

東京大学大学院経済学研究科

愛知県名古屋南地区の富松地域で生る
・富松のしほり、松の葉の大半が
・この地域で生る松の葉

三、

有松しほりの豆知識

(5) 補正の通知(5)

2004年12月

(γ) 2 mg/ml 聚酰胺-66 溶液

この「新のこころ」は、本誌に「心を豊かにする」をテーマとして取り上げ、新書に収められた。この本は、新書に収められたものの中で、しほり文化にもよく通じています。

本書「しほり文化のたより」は、しほり文化の歴史、しほり文化の現状、しほり文化の未来について、詳しく紹介しています。

本書「しほり文化のたより」は、しほり文化の歴史、しほり文化の現状、しほり文化の未来について、詳しく紹介しています。

(D) 1997年10月1日施行

「それは、江戸時代末期の二十一年に、井田玄太郎といふ人物が、その地を踏んだと考へられてゐる。それから幾代か傳へてゐた。『三日月の墓』を考へたといふのです。その墓、地味等に想像されたか否かと云ひました。『三日月の墓』が、新田の墓の地味に似てゐる。たゞ、その墓の石は、石上」

It must be all

の幅は、約10cm程度である。

Copyright © 2005

針のついた空糸の筒と、針糸を縫う。布を筒の針に
けてしほる。針を中心に、筒がきの骨のようにひだを穿て
糸を縫いてしほる。有松しほりの代数的な技法で、くもの
ひだの模様が「kumo」。

Copyright © 2004

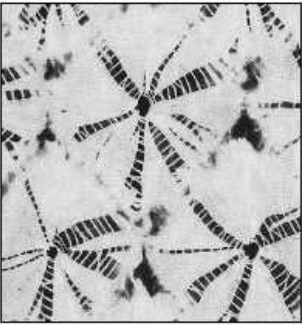
針と糸だけを使う。布にかけた下縫に沿って、糸でぬい
しはる。輪かくをぬいた領と手首に、内側に五ミリメートル
夏かくでぬいてしはる。布を半分に折って手首のひざ、手首
裏のひざひし縫の裏縫がけはる。

③



問題 3

総合的な学習の時間の「リーフレット」の作成において、編集会議での話し合いの結果を受け、**目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考えて書き直したり、さらに改善するための意見の提案や、条件に沿ってまとめを書いたりすることができるかどうかをみる問題。**

しぼり方	道具	模様	しぼりの種類
ウ	・ 針 ・ 糸		手ぐもしぼり
布にかいた下絵に沿って糸でぬい、輪かくをぬいた線と平行に、内側に五ミリメートル間かくでぬってしぼる。	・ 針 ・ 糸	イ	ア

【表】

「二つの技法が紹介されていますが、具体的にどのような模様になるのが、わからないと思います。二つの技法のちがいを短く示したり、模様の写真を入れたりしたらどうでしょう。」



【編集会議で出た意見】

②

【表】の「ウ」にあてはまる言葉を、次の条件に合わせて書きなさい。

- 条件1 【下書きB】の言葉を使って書くこと。
条件2 【表】の書き方に合わせて書くこと。

③



問題 3

総合的な学習の時間の「リーフレット」の作成において、編集会議での話し合いの結果を受け、**目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考えて書き直したり、さらに改善するための意見の提案や、条件に沿ってまとめを書いたりすることができるかどうかをみる問題。**

【書く力①】

例示(定型)に従って書けるか？

しぼり方	針	針のついたし字型の	手ぐもしぼり
ウ	糸		
	糸	布にかいた下絵に沿って糸でぬい、輪かくをぬいた線と平行に、内側に五ミリメートル間かくでぬってしぼる。	

【出題のねらい】

- 目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。

【表】

「二つの技法が紹介されていますが、具体的にどのような模様になるのが、わからないと思います。二つの技法のちがいを短く示したり、模様の写真を入れたりしたらどうでしょう。」



【編集会議で出た意見】

② 【表】の「ウ」にあてはまる言葉を、次の条件に合わせて書きなさい。

- 条件1 【下書きB】の言葉を使って書くこと。
条件2 【表】の書き方に合わせて書くこと。

4



問題 3

総合的な学習の時間の「リーフレット」の作成において、編集会議での話し合いの結果を受け、**目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考えて書き直したり、さらに改善するための意見の提案や、条件に沿ってまとめを書いたりすることができるかどうかをみる問題。**

まとめ

「読んでくださったみなさんへ」

有松しほりは、

編集委員一同

- 条件1 井上さんと大下さんの両方の意見を取り入れて書くこと。
- 条件2 井上さんの意見については、「下書きA」の(ウ)の言葉を使って書くこと。
- 条件3 「有松しほりは、」に続けて、八十字以上、百字以内で書くこと。段落分けはしなくてよい。

私も体験してみても初めて、有松しほりのよさがわかりました。やはり一度、実際に染め物体験に参加してみると、有松しほりのよさがわかると思うので、読んだ人にぜひ参加してほしいです。



大下さん

読んだ人に、有松しほりにもっと興味をもってもらいたいです。そのためには、長い歴史があることを強調して、有松しほりがいつの時代から、どこで発展した工芸品なのかを書くことよいと思います。



井上さん

- (4) 大下さんは、リーフレットの最後にまとめとして、自分たちの気持ちや願いを載せたいと考え、次のように話し合っています。これを参考にして、リーフレットの最後に載せる文章を、下の条件に合わせて書きなさい。

4



問題 3

総合的な学習の時間の「リーフレット」の作成において、編集会議での話し合いの結果を受け、**目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考えて書き直したり、さらに改善するための意見の提案や、条件に沿ってまとめを書いたりすることができるかどうかをみる問題。**

【出題のねらい】

- 目的に応じて文章と意見を読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。

【書く力②】

与えられた条件に即して、書けるか？

(4) 大下さんたちは、リーフレットの最後にまとめとして、自分たちの気持ちや願いを載せたいと考え、次のように話し合っています。これを参考にして、リーフレットの最後に載せる文章を、下の条件に合わせて書きなさい。

読んだ人に、有松しほりにもつてもらいたいです。そのためにあることを強調して、有松時代から、どこで発展した工芸くといと思います。

私も体験してみても初めて、有松がわかりました。やはり一度、体験に参加してみると、有松わかると思うので、読んだ人にほしいです。



大下さん



井上さん

5



問題 4

説明的な文章を読み取り、内容を整理して正しく理解することや、文章を読んで生まれた疑問について、新たな資料を選び、自分で調べ学習を進めることができるかどうかをみる。

(2)

石田^{いしだ}さんは、この文章の内容をまとめたノートの最後に、次のような感想を書きました。そして、自らの疑問を解決するために本を使って調べることになりました。その結果、下のA・Bの二冊の本を見つけました。あなたが石田さんなら、どちらの本を選びますか。どちらの本を選んでも構いませんが、選んだ本のどこを読めば、石田さんのどのような疑問が解決するのかを、具体的に書きなさい。

19

宇宙への興味が広がる文章で、とてもおもしろかった。特に、太陽が宇宙の中心ではないことにおどろいたので、宇宙全体の姿はどうなっているのかをくわしく調べてみたくなった。

⑤



問題 4

説明的な文章を読み取り、内容を整理して正しく理解することや、文章を読んで生まれた疑問について、新たな資料を選び、自分で調べ学習を進めることができるかどうかをみる。

【出題のねらい】

- ・ 司会の役割を理解することができる。

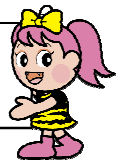
【書く力③】

事実と感想、意見などを区別し、自分の考えを明確に書けるか？

② 石田^{いしだ}さんは、この文章の内容をまとめたノートの最後に、次のような感想を書きました。そして、自らの疑問を解決するために本を使って調べることになりました。その結果、下のA・Bの二冊の本を見つけました。あなたが石田さんなら、どちらの本を選びますか。どちらの本を選んでも構いませんが、選んだ本のどこを読めば、石田さんのどのような疑問が解決するのかわ、具体的に書きなさい。

宇宙への興味が広がる文章で、とてもおもしろかった。特に、太陽が宇宙の中心ではないことにおどろいたので、宇宙全体の姿はどうなっているのかわくわく調べてみたくなった。

⑥



ポイント① 付けたい力を明確に

「書くこと」の能力を育てるための指導事項

- ア 「課題設定や取材」に関する指導事項
- イ 「構成」に関する指導事項
- ウ 「記述」に関する指導事項
- エ 「推敲」に関する指導事項
- オ 「交流」に関する指導事項

7



ポイント① 付けたい力を明確に

「書くこと」の能力を育てるための指導事項

ア 「課題設定や取材」に関する指導事項

低学年

- 経験や想像したことなどから書くことを決め、
- 書こうとする題材に必要な事柄を集める

中学年

- 関心のあることなどから書くことを決め、
- 相手や目的に応じて、必要な事柄を調べる

高学年

- 考えたことなどから書くことを決め、
- 目的や意図に応じて、事柄を収集し、全体を見通して整理する

8



ポイント① 付けたい力を明確に

「書くこと」の能力を育てるための指導事項

イ 「構成」に関する指導事項

低学年

- 自分の考えが明確になるように、
- 事柄の順序に沿って簡単な構成を考える

中学年

- 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、
- 段落相互の関係などに注意して文章を構成する

高学年

- 自分の考えを明確に表現するため、
- 文章全体の構成の効果を考える

9



ポイント① 付けたい力を明確に

「書くこと」の能力を育てるための指導事項

ウ 「記述」に関する指導事項

低学年

- 語と語、文と文の続き方に注意しながら、
- つながりのある文や文章を書く

中学年

- 書こうとすることの中心を明確にし、
- 目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く
- 文章の敬体と常体の違いに注意して書く

高学年

- 事実と感想、意見などとを区別するとともに、
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること
- 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く

10



ポイント① 付けたい力を明確に

「書くこと」の能力を育てるための指導事項

エ 「推敲」に関する指導事項

低学年

- 文章を読み返す習慣を付けるとともに、
- 間違いなどに気づき、正すこと

中学年

- 文章の間違いを正したり、
- よりよい表現に書き直したりすること

高学年

- 表現の効果などについて確かめたり、
- 工夫したりすること

11



ポイント① 付けたい力を明確に

「書くこと」の能力を育てるための指導事項

オ 「交流」に関する指導事項

低学年

- 書いたものを読み合い、
- よいところを見つけて、感想を伝え合うこと

中学年

- 書いたものを発表し合い、
- 書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと

高学年

- 書いたものを発表し合い、
- 表現の仕方に着目して助言し合うこと

12



ポイント① 付けたい力を明確に

「書くこと」の能力を育てるための指導事項

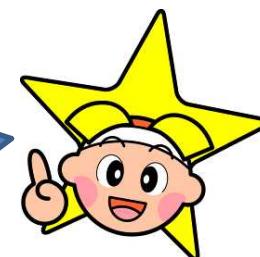
- ア 「課題設定や取材」に関する指導事項
- イ 「構成」に関する指導事項
- ウ 「記述」に関する指導事項
- エ 「推敲」に関する指導事項
- オ 「交流」に関する指導事項

日々の授業の中で...

学習指導のスタンダード「授業5(ファイブ)」

②自分で考え、表現する時間を確保する

④授業の振り返りをする



13



ポイント② 具体的な手立てを

言語活動の充実を目指すために

様々な学習活動において、国語科との関連を意識して実践していく。

総合的な学習の時間の体験活動などを、国語科での学習活動の教材として考える。

国語科での言語活動

総合的な学習の時間での活動
他の教科での活動

総合的な学習の時間の発表などを、国語科で身に付けた話す力を発揮する場面と考える。

「国語科」の指導で身に付けた力を、日常的な学習で想起させ、繰り返し使わせるようにする。



言語活動の充実を目指すために

＜各教科等における言語活動の充実＞



国語科：基本的な国語の力を定着させたり、言葉の美しさやリズムを体感させたりするとともに、発達の段階に応じて、記録、要約、説明、論述といった言語活動を行う能力を培う



言語活動の充実を目指すために

「国語科」では

低学年

- 想像したことを文章に書くこと
- 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章を書くこと
- 身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと
- 紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりすること
- 伝えたいことを簡単な手紙に書くこと

中学年

- 身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりすること
- 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること
- 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと
- 目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと

高学年

- 経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくったり、物語や随筆などを書いたりすること
- 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること
- 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと

16



ポイント② 具体的な手立てを

言語活動の充実を目指すために

「他の教科や領域」では

(1) 体験から感じ取ったことを表現する

(例)・日常生活や体験的な学習活動の中で感じ取ったことを言葉や歌、絵、身体などを用いて表現する

(2) 事実を正確に理解し伝達する

(例)・身近な動植物の観察や地域の公共施設等の見学の結果を記述・報告する

(3) 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする

(例)・需要、供給などの概念で価格の変動をとらえて生産活動や消費活動に生かす
・衣食住や健康・安全に関する知識を活用して自分の生活を管理する

(4) 情報を分析・評価し、論述する

(例)・学習や生活上の課題について、事柄を比較する、分類する、関連付けるなど考えるための技法を活用し、課題を整理する
・文章や資料を読んだ上で、自分の知識や経験に照らし合わせて、自分なりの考えをまとめてA4・1枚(1000字程度)といった所与の条件の中で表現する

17



ポイント② 具体的な手立てを

言語活動の充実を目指すために

「他の教科や領域」では

- ・自然事象や社会的事象に関する様々な情報や意見をグラフや図表などから読み取ったり、これらを用いて分かりやすく表現したりする
- ・自国や他国の歴史・文化・社会などについて調べ、分析したことを論述する

(5) 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する

- (例)・理科の調査研究において、仮説を立てて、観察・実験を行い、その結果を整理し、考察し、まとめ、表現したり改善したりする
- ・芸術表現やものづくり等において、構想を練り、創作活動を行い、その結果を評価し、工夫・改善する

(6) 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる

- (例)・予想や仮説の検証方法を考察する場面で、予想や仮説と検証方法を議論しながら考えを深め合う
- ・将来の予測に関する問題などにおいて、問答やディベートの形式を用いて議論を深め、より高次の解決策に至る経験をさせる

18



ポイント③ 系統性を踏まえた授業づくり

学年の発達段階・学習の系統性を
踏まえた授業づくり

B 書くこと「記述」の発展系統(学習指導要領から)

小学校	第1・2学年	語と語や文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書く
	第3・4学年	書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書く
	第5・6学年	事実と感想、意見などとを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書く 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く
中学校	第1学年	伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書く
	第2学年	事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書く
	第3学年	論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書く

今回の問題は「...」

全国学力・学習状況調査でも

- 1 自分の考えを強調するために、複数の事がらに共通する点をまとめている。
- 2 読み手に自分のこととしてとらえてもらうために、疑問を投げかけている。
- 3 自分が伝えたいことをくわしく示すために、具体的な事例を取り上げている。
- 4 読み手を説得するために、表やグラフを用いながら自分の考えを書いている。

このことについて、下のわが家の昨夜のこんだてを例にして説明します。主食のご飯からは主に炭水化物を、とうふとわかめが入ったみそ汁からは、たんぱく質と無機質をとることが出来ます。さばの塩焼きからは主にたんぱく質を、かぼちゃのものときゅうりのすのものからは、ビタミンをとることが出来ます。

♪ (文章が続く) ♪



くわが家の昨夜のこ

- この文章について説明したものと、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 「あす」と「あした」は違う意味の言葉だったということを、専門家の意見を引用しながら説明している。
 - 2 「あす」と「あした」は違う意味の言葉だったということを、和歌などを例に挙げながら説明している。
 - 3 「あす」と「あした」は違う意味の言葉だったということを、複数の辞書の記述を比較しながら説明している。
 - 4 「あす」と「あした」は違う意味の言葉だったということを、筆者の体験を踏まえながら説明している。

平成27年度
中学校 国語A

今 ← 昔

あす

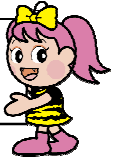
①

次の日 →

翌日の日中全休

[illegible]

平成27年度
小学校 国語B



最後に... これからの「教育観」について

- ◆ 子どもたちが成人して社会で活躍する頃には、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会や職業の在り方そのものも大きく変化する可能性。
- ◆ そうした厳しい挑戦の時代を乗り越え、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力が必要。

そのためには...

- 教育の在り方も一層進化させる必要。
- 特に、学ぶことと社会とのつながりを意識し、「何を教えるか」という知識の質・量の改善に加え、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視することが必要。また、学びの成果として「どのような力が身に付いたか」という視点が重要。